

あゆつかみ

桜町小・1 せとぐち いちのしん

「きようは、どこに行くのかな。」

ぼくは、おとうさんの車にのりました。おかあさんといもうともいっしょです。車にのって、しばらくすると、川とたきが見えてきました。もつとすすむと、あゆつかみのかんばんが見えました。

「きようの、いき先は、あゆつかみだ。」

ちゆう車じようについて車をおけると、川の音がきこえてきます。ザーザーと音がして、気もちがいいです。

かいだんをおけると、川が見えてきました。人がたくさんいます。

「あのたきみたいなのやつはなに。」

と、ぼくがきくと、おかあさんが、

「あれは、やなというものだよ。」

と、いいました。ぼくが、どんなやく目をするものかきくと、おかあさんが、

「さかなをとるための、しかけだよ。」

と、おしえてくれました。

やなのよこには、川の中に、あゆのつかみどりをするへやのようなばしょがありました。ぼくたちは、このへやのようなばしょであゆつかみをするみたいです。川までのみちのりは、でこぼこのさかで、とてもあるきにくかったです。ぼくは、ころばないように気を付けてあるきました。

そして、いよいよあゆつかみのはじまりです。へやに入っているあゆは、七ひきです。水の中をじつと見て、手をつっこんでみるけれど、なかなかあゆはつかめません。ぼくが手をつっこむと、あゆはぎよぎよつとにげてしまうので、へやのかどにおいこんでとることにしました。

一ばんにあゆをつかまえたのは、おとうさんです。つぎに、ぼくもつかまえたけれど、あゆがあばれて手からにげていきました。あゆをとったら、すぐにバケツに入れることもだいじです。くやしかったので、つぎはあゆがにげないように、しっかりとつかんでバケツに入れました。いもうともがんばって、みんなであゆをぜんぶつかまえました。川の水はつめたくて、あゆつかみは、なつにさいこうです。でも、ぼくは、すこしあゆがかわいそうだなとおもって、それをおかあさんにいいました。おかあさんは、

「ちゃんと、かんしゃをしてたべようね。」

と、いいました。ぼくもそうしようとおもいました。

じぶんがとったあゆは、とてもおいしかったです。また、あゆつかみにいきたいとおもいました。なつやすみは、「たのしい」のたからばこです。